

差出人: csih@googlegroups.com は hidekih@wine.plala.or.jp の代理
送信日時: 2018年1月16日火曜日 23:44
宛先: csih@googlegroups.com
件名: [CSIH] 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2018年1月16日発行

中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2018年1月16日発行

【第150回定例研究会】

1月28日に豊田市のとよた市民活動センターにて13:00から開催いたします。
名鉄三河線豊田市駅・愛知環状鉄道新豊田駅下車すぐ・松坂屋豊田店のあるT-FACE A館の9階です。松坂屋のエレベーターで9階まで上がって下さい。
会場はとよた市民活動センターの事務所で御確認下さい。
当日のレジュメは次回の電子メール場ニュースレターにて配信いたします。

【会員の皆様でお心当たりの方がおいでしたらご連絡下さい】

当会の杉本漢三副会長に本年年初に年賀状を送られた方で、銚子電鉄の写真のみを送られた方がおいでなのですが、写真のみで、何も記載が無いとのこと。
すみませんが、お心当たりの方は、広報幹事の橋本までご連絡下さい。
連絡先: hidekih@wine.plala.or.jp

【中部産業遺産研究会の入会案内はこちら】

<http://csih.sakura.ne.jp/nyuukaiannai.html>

【中部産業遺産研究会のホームページはこちらから】

<http://csih.sakura.ne.jp/index.html>

【中部産業遺産研究会の書籍のご案内】

<http://csih.sakura.ne.jp/syoseki.html>

【CONTENTS】

-
- 【1】 中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定
 - 【2】 中部産遺研会報 第69号発行のご案内【New】
 - 【3】 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第36回のご案内【訂正あり】
 - 【4】 第151回定例研究会／見学会のご案内【申し込み方法掲載】

【1】 中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

- 第150回定例研究会 2018/1/28(日) 13:00~17:00 とよた市民活動センター
- シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第36回 2018/3/3(土) 10:00~(見学会) 13:00~(シンポ)
会場: 栄ガスビル
- 第151回定例研究会／見学会 2018/3/4(日) 松阪市の丹生鉱山と立梅用水(10:00 松阪駅集合)
参加費 3000円(バス代・保険代・手土産代を含む)
- 第26回総会・第152回定例研究会 2018/05/19(土) 予定 13:00~17:00 名城大学校友会館会議室予定
- 産業考古学会 2018年度総会 2018/05/25-27 栃木県足尾で予定

【2】 中部産遺研会報 第69号発行のご案内【New】

中部産遺研会報第 69 号を発行いたしましたのでご案内いたします。

<http://csih.sakura.ne.jp/kaihou.html>

からダウンロードが可能です。

会報はPDFファイルにて上記ホームページに登録されています。

【主な内容】

1. 産業遺産紹介／水野信太郎
2. 石積み砂防堰堤を訪ねて（3）／田口憲一
3. 「岡谷諏訪の産業遺産めぐり旅」に参加して／田中敬也
4. 利尻・礼文ツアーで出会った産業遺産／藤井建
5. 「産業考古学会全国大会見学会」に参加して／潮田智道
6. 第 13 回パネル展講演会・第 149 回公開定例研究会の概要／藤田秀紀
7. 第 150 回定例研究会案内
8. シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第 36 回案内
9. 第 151 回定例研究会・見学会案内、事務局より、編集後記、原稿募集

【3】シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第 36 回のご案内【参加申し込みスタート】

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第 36 回を次の通り開催致します。

参加申し込みの受付を開始しました。会員の皆様、会員外の皆様のご参加をお待ちしております。

詳細は

<http://csih.sakura.ne.jp/nitigi.html>

にございます。

また、参加申し込みフォームへのリンクも上記ホームページにございます。

テーマ 「名古屋テレビ塔の新たな旅立ち ーランドマークとしてのこれまでとこれからー」

名古屋テレビ塔は、昭和 28（1953）年 9 月から着工され、翌 29（1954）年 6 月竣工開業した日本初の集約電波塔です。戦後復興のシンボルでもあるこの塔は、名古屋中心部のランドマークとして欠かせないものになり、市民の多くに親しまれています。この設計者の内藤多仲博士は、耐震構造の父と称され、大正期の関東大震災にも耐えた歌舞伎座や、戦後の東京タワーも含めて生涯に 60 以上の塔を構造設計し、塔博士とも称されます。名古屋テレビ塔は平成 23 年 7 月 24 日には「テレビ塔」としての役割を終えましたが、国の登録有形文化財にも登録されており、価値の高い存在です。そのため、新しい耐震基準に適合させる改修免震工事が計画されています。その準備の中で多数の資料が再認識されました。

今回、この資料調査を通して、内藤多仲博士の足跡を含め、私たちは名古屋テレビ塔の記録継承すべき歴史について認識を深めたいと思います。

そして、今後の修復や保存、さらに活用の仕方などを、参加者のみなさんと共に考えましょう

日時 2018 年 3 月 3 日 土曜日 13:15～16:45

会場 栄・ガスビル 5 階キングルーム（定員 132 名）

参加費 資料代+会場費 会員・学生 1,000 円、一般 1,500 円

見学会 シンポジウム当日の午前中にテレビ塔の見学会を実施。

定員 40 名（第 1 班：10:00～ 20 名、第 2 班：10:30～ 20 名）

見学会参加費：500 円（見学会参加費のみ現地にて参加費を集めます）

懇親会 17:30～19:00 参加費：5000 円

場所：栄ガスビル 地下 1 階「しら河」

【4】第 151 回定例研究会／見学会のご案内【申し込み方法掲載】

2018 年 3 月 4 日開催の第 150 回定例研究会／見学会は、2017 年 10 月 29 日に台風で中止となった

